ロサンゼルスの有権者、100 万ドルの不動産販売に対する新しい税を検討

2022 年 10 月 — 労働組合およびその他の組織の連合による成功した請願は、指定された価格を超える不動産売却に課税するためにロサンゼルス市書記に提出されました。この提案では、500 万ドル以上で売却された不動産には 4% の税金が課され、1,000 万ドル以上で売却された不動産には 5.5% の税金が課されます。市議会は、特別選挙を行う代わりに、11 月の投票に法案を提出することを決定しました。スポンサーの目標は、ホームレスに対処するためのプログラムに資金を提供するために収益を使用することです。United to House L.A. の提案は、手ごろな価格の恒久的な住宅に投資するための収益を上げることに大きく力を注ぐことを目指しています。この法案が可決された場合、ロサンゼルス市の住宅価格と不動産市場全般にどのような影響を与えるかを評価する方法はなく、地域の一般的なビジネス環境は言うまでもありません。有権者は、ロサンゼルスの深刻なホームレス問題に対する適切な解決策が増税と支出であるかどうかを判断する必要があります。

「House L.A.」と呼ばれる投票法案は、居住用不動産と商業用不動産の両方に適用されます。この法案の支持者は、8 億ドルを調達し、それを住宅や建設業界に注ぎ込むことを望んでいると報告しています。ハワード・ジャービス納税者協会などのビジネス・グループは、国内で最も税金の高い州の 1 つとしてのカリフォルニア州の評判に貢献する、さらに多くの税金を追加する法案に反対するためにすでに列を作っています。連邦税率とは異なり、カリフォルニア州にはキャピタルゲイン所得に対する特別税率はありません。投票法案の支持者には、さまざまな組合、ホームレス サービス プロバイダー、および関連グループが含まれます。

SOURCE: California Land Title Association https://bit.ly/3eJe0hz

PROVIDENT TITLE COMPANY